

よさの地域デザイン会議（加悦地域）

加悦地域

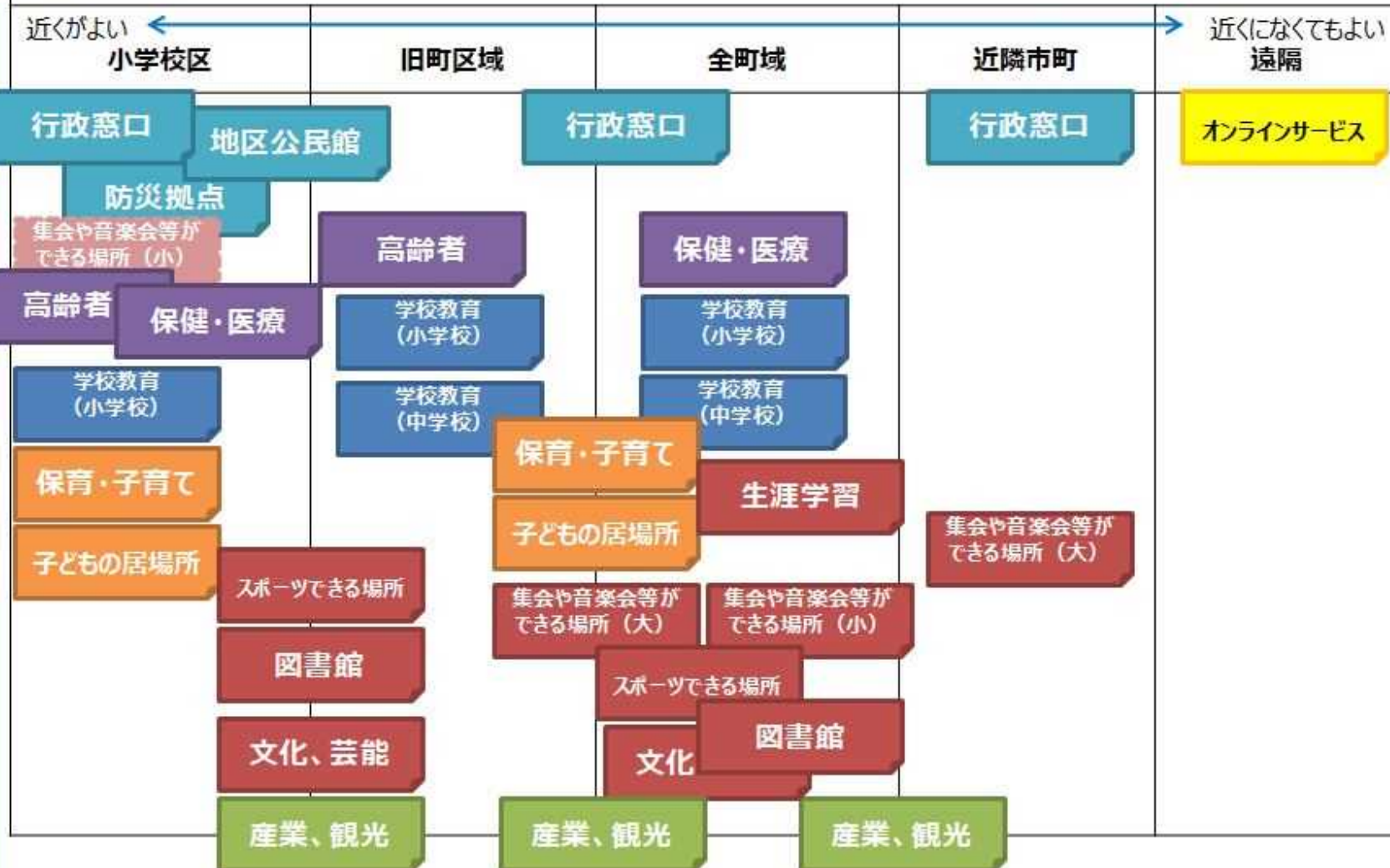
① 公共サービスの利用圏域

近くがよい ◀◀ 小学校区 ▶▶ 旧町区域 ▶▶ 全町域 ▶▶ 近隣市町 ▶▶ 遠隔 ▶▶ 近くになくてもよい

①利用圏域

幼少・子ども ■ 若者 ■ 子育て世代 ■ 高齢者

健康・福祉・医療 ■ 交流・文化・スポーツ ■ 子育て・教育 ■ しごと・産業



よさの地域デザイン会議（加悦地域）

公共サービスの「利用圏域」を考えよう

- ◇旧町単位ではなく、**町単位で考えるべき**。
- ◇**利用利便の配慮**ができればよい。例）移動図書館など。
- ◇施設を活かしきれていないものがある。
- ◇人が集まる**道・ルート・ポイントがあれば**。農地利用や企業誘致、定住にも

公共サービスの「集約」「複合」を考えよう

- ◇**公共施設の利用**にかかる制約を減らし利用しやすくして、使い勝手に応じ、公共施設を**集約すべき**。
- ◇利用率が低い施設、案外無駄な施設が多く、整理が必要。
- ◇**新たなサービス、プラスαでの行政サービス**の維持。
- ◇経営の視点で公共施設を考える。
- ◇利用しやすい施設になると「人が集まる」、「新たなコミュニティの形成」、「幸福や利益を生む」場所に生まれ変わるのでは。
- ◇人が集まる「大きな場所への集約・複合」と「規制緩和による小さな新コミュニティの形成」。
- ◇スクールバスや町バスの有効活用など、町内を回る手段。交通の利便性の向上。